

子どもが欲しい

～世界の物語・民話に見る「申し子」「授かり子」たち～

「むかしむかし、おじいさんとおばあさんがいました」で始まる民話は、しばしば「子どもがいなくて、欲しいと思っていました」と続きます。その願いはかなえられたでしょうか？かなえられたとしたらどんな子どもが授かったのでしょうか？

授かった子は、美しく才能秀でた子どももあれば、指の大きさしかない小さな子、人間ではなくて蛙とか田螺などの場合もあります。でも、授けられた親たちはその子どもを大事に大事にします。

民話は、同じような筋の民話でも細部が違っているものもあります。また、同じ話でも挿絵画家によって、まったく違う雰囲気でも描かれていたりします。違いをお楽しみ下さい。

神仏に祈って子どもが授かりました。

- 1) ゆりわかだいじん 荒木博之文 小沢良吉絵 東京 小峰書店 1980 当館請求記号 (Y17-7125)
(出版国 日本) 帝の第一の家来である左大臣は恵まれた生活を送っていましたが、跡継ぎの子どもがいませんでした。そこで、はつせの観音さまに三十三度の願をかけ、子どもを授けてくださいとお祈りします。願いは聞き届けられ、百合の花が美しく咲いている夏に男の子が生まれ、百合の花のようにきよらかに育つように百合若と名づけられます。百合若伝説は日本の各地にあり、幸若舞、浄瑠璃、歌舞伎などにもなっています。
- 2) 百合若大臣 たかしよいち文 太田大八絵 東京 ポプラ社 2004 当館請求記号 (Y17-N04-H1005)
(出版国 日本) 同じく、百合若大臣の話です。百合の花にもぬきんでて育つように百合若と名づけられました。
- 3) 鉢かつぎ姫 広川操一画 千葉幹夫文・構成 東京 講談社 2002 当館請求記号 (Y17-N02-226)
(出版国 日本) 「むかし、河内の国にお金持ちのさむらいがいました。なにに不自由なく暮らしていましたが、子どもにめぐまれません。そこで観音さまに『こどもをおさずけください』とお願ひしました。そのかいあって、かわいい女の子がさずかりました」。その後、母親が亡くなる時、姫に鉢をかぶせます。母親の死後、父親は再婚します。姫は家を出て、苦勞ののち、幸せな結婚をします。
- 4) たにしむすこ おざわとしお,まつむらゆうこさいわ つだろとうえ 東京 くもん出版 2006
当館請求記号(Y17-N06-H1396)
(出版国 日本) 「わかい夫婦がありました。夫婦は子どもがほしい、子どもがほしいとおもっていました。それで、神さまにおまいりして『どうか子どもをさずけてください』とおねがいしました」。やがて夫婦に田螺が生まれ、夫婦は大切に育てます。やがて、田螺は問屋の末娘と結婚します。娘に自分を叩き潰すように頼み、ハンサムな若者に変身します。
- 5) たにしちょうじゃ：にほんのはなし いろいろみひこぶん あかさかみよしえ 東京 コーキ出版 1977.8
当館請求記号 (Y17-5454)
(出版国 日本) おなじ田螺の話ですが、夫婦は「どうか子どもをひとりおさずけください。たにしのようなこどもでもいいのです」と祈ったことになっています。それで田螺が生まれますが、神様に授かった子だからと大事にします。田螺は長者の末娘と結婚して、水神さまのおかげで、同じくハンサムな若者に変身します。
- 6) Issum Boshi o pequeno samurai (一寸法師：小さなさむらい) / Lucia Hiratsuka, Lucia Pimentel Goes. Sao Paulo Callis Editora 1998.
当館請求記号 (Y17-A5393)
(出版国 ブラジル) 一寸法師の話です。夫婦は、年をとった夫婦として描かれています。子どもが欲しい二人はお寺に行って祈ります。

- 7) *The inch-high samurai* (一インチの背丈のサムライ) illustrations by Shiro Kasamatsu ; retold by Ralph F. McCarthy. Tokyo Kodansha International 1993. 当館請求記号 (Y19-A33)
 (出版国 日本) 講談社の絵本『一寸法師』の英語版です。まだ若い夫婦です。難波に住んでおり、毎晩、雨の日も晴れの日も住吉大社に小さな子どもでもいいから授けてくれるようにお祈りしたところ、小さな子どもが生まれます。姫とめぐり合い、鬼を退治し、大きくなった一寸法師は、いまや年寄りになった両親を訪ねます。
- 8) 哈蟆娃 (蛙っ子) / 郝廣才文,柯明圖 台北：遠流出版，1992.10 当館請求記号 (Y17-AZ482)
 (出版国 台湾) 幸せに暮らしている老夫婦ですが、五十歳になっても子どもがいません。他の人の子どものを見ると羨ましくなり、自分たちに子どもがいないと思うと涙がでるのです。そんな時、夢に神様とおぼしき老人が出てきて「子どもが欲しいのだな。どのような子どもでも面倒みるか？」と訊きます。おばあさんは「ええ、たとえ蛙でも大事にします」と答えると、おばあさんはほどなく蛙を産みます。二人は蛙を大事にします。この蛙は溺れそうになった娘を助けたりします。あるとき村に虫の大群がやってきたとき、蛙が大発生して虫を食べ、村を救います。そのあと、この蛙が死に、おじいさん、おばあさん、助けられた娘は悲しみますが、蛙はりりしい青年に変身して生き返ります。
- 9) 七兄弟 / 郝廣才文,王家珠圖 台北：遠流出版 1992.5 当館請求記号 (Y17-AZ473)
 (出版国 台湾) 王夫妻は結婚三十年、子どもがいません。いろいろ考えると涙が出てしまいます。王おばあさんは神様のところに行って子どもを授けてくれるようお願いします。すると七人の男の子が生まれました。この子たちはそれぞれの特技もっており、その特技を使って、悪い皇帝をやっつけます。
- 10) 金瓜與銀豆 (金瓜くんと銀豆ちゃん) / 王宣一文,張世明圖 台北遠流出版事業 1994.8
 当館請求記号 (Y17-AZ500)
 (出版国 台湾) まじめに働き、村人にも親切な働き者の金波・銀波夫婦は年をとっても子どもに恵まれません。子どもが欲しいと天に祈ると、美しい金の瓜から金瓜くんが、月のような銀色の豆のさやから銀豆ちゃんが生まれます。二人の子どもは仕事に励み夫婦の生活は楽になります。強欲な役人が登場しますが、それもやっつけます。
- 11) *Putri Bunga Melur : cerita rakyat dari Sumatera Utara, Indonesia* (ジャスミン姫：北スマトラの民話) / diceritakan kembali oleh Murti Bunanta ; ilustrasi oleh Hardiyono [Jakarta] Kelompok Pencinta Bacaan Anak [2001?] 当館請求記号 (Y17-B10854)
 (出版国 インドネシア) 長いこと子どもに恵まれない夫婦は「子どもがいれば、寂しくないのになあ」と思って、神に祈ります。妻はジャスミンの花を見て、「ジャスミンみたいな娘がいたらどんなに幸せかしら」と思います。やがて、ジャスミンのような娘が生まれますが、指くらいの大きさしかありません。この娘は大きくなったら自分にふさわしい夫を見つけるために旅に出さねばだめだといわれた両親は、年頃になった娘を旅に出します。娘は、親指くらいの大きさの王子と結婚して幸せになります。
- 12) *Marmol : the princess in the marble palace* (マーモル:大理石宮殿の中の王女) / by Marla Yotoko Chorenge ; edited by Melissa Ylanan Moran ; illustrated by Albert E. Gamos. Makati, Metro Manila Bookmark c1990. 当館請求記号 (Y17-A3662)
 (出版国 フィリピン) 豊かな王国シブヤンの国王夫妻には子どもがいませんでした。王と王妃は神に祈ります。そして、願いは聞き届けられ女の子が授かります。誕生祝に数々の神が招かれ、「美」「勇気」「智慧、健康」などを王女に贈ります。しかし、招かれなかった闇の神は、怒って王女に「死」を贈ります。そのとき、遅れて到着した太陽の神が「希望」を贈り、「王女は死ぬのではなく眠っているだけだ」といいます。王女が16歳になったとき、飛んできた鳥を捕らえた王女は、追ってきた矢に刺されて倒れます。そして深く眠ることになります。「いばらひめ」を思わせる話ですが、フィリピンの民話です。ただし、王女の目を覚まさせる王子は登場しないまま終わっています。

魔法使いに頼みました

- 13) Thumbelina / Hans Christian Andersen ; translated by R.P. Keigwin ; illustrated by Adrienne Adams. New York Scribner c1961. 当館請求記号 (Y19-A597)
(出版国 アメリカ) 子どもの欲しい女の人がありました。どうしたらいいかわからなかったので、年をとった魔法使いのところに行って相談すると、魔法使いは「それは何でもないわ」と言って、植物の種をくれます。その種を大事に育てると花が咲き、花のなかに可愛い女の子がいました。親指ほどの大きさの女の子です。でも女の子は蛙に盗み出されてしまいます。最後に女の子が花の国の王子と結婚して幸せになります。女の方はやや中年にさしかかった婦人として描かれています。
- 14) Thumbelina (おやゆびひめ) / by Hans Christian Andersen ; retold by Naomi Lewis ; illustrated by Bernadette Watts. New York North-South Books 1990. 当館請求記号 (Y19-A265)
(出版国 アメリカ) 同じくおやゆびひめ。女の方はまだ若い娘として描かれています。挿絵画家は日本でも人気が高いバーナデット・ワッツです。
- 15) Diuimovochka (おやゆびひめ) / G.-Kh. Andersen ; perevod s dat'skogo A. Ganzen ; [risunki Very Borisovoi]. Murmansk Murmanskoe knizhnoe izd-vo 1981. 当館請求記号 (Y17-A8129)
(出版国 ロシア) 同じくおやゆびひめ。女の方は良家の若奥様ふうです。花が美しく描かれています。
- 16) Tom Thumb (おやゆびトム) / retold and illustrated by Richard Jesse Watson. San Diego Harcourt Brace Jovanovich c1989. 当館請求記号 (Y17-A5686)
(出版国 アメリカ) 幸せに暮らしている夫婦ですが、何かさびしげな様子。乞食に身をやつして立ち寄った魔法使いのメルリンが理由を聞くと「子どもがほしい。たとえば夫の親指より小さな子どもでも」という答が返ってきました。そして、親指くらいの子ども・トムが生まれます。トムはさまざまな冒険をします。
- 17) Adventures of Tom Thumb (おやゆびトムの冒険) / retold by David Cutts ; illustrated by Fuka. Mahwah, N.J. Troll Associates c1988. 当館請求記号 (Y17-A1799)
(出版国 アメリカ) 同じくおやゆびトムの話です。
- 18) おやゆびたろう おざわとしお,たかはしやすこさいわ おのかおるえ 東京 くもん出版 2006.11 当館請求記号 (Y17-N06-H1401)
(出版国 日本) 「昔むかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。二人には、子どもがいなかったので、いつも、子どもがほしい、子どもがほしいとおもっていました」。二人は、たまたま一人の老人を泊めたところ、何でも欲しいものをあげると言われ、「おやゆびくらいの大きさでいいから子どもがほしい」と答えます。そして生まれたのがおやゆびくらいの大きさの子、おやゆびたろうです。たろうは、うっかりしておじいさんとはぐれてしまいますが、旅を続けて、小判を持っておじいさんとおばあさんのところに帰り、また、三人で仲良くくらしします。「おやゆびトム」のような話ですが、大分県の民話です。
- 19) ロバのおうじ グリムげんさく M.ジーン・クレイグさいわ バーバラ・クーニーえ もきかずこやく 東京 ほるぷ出版 1979 当館請求記号 (Y17-6475)
(出版国 日本) グリム童話のなかのお話です。王さまとお妃さまは子どもが欲しくてたまりません。で、魔法使いに頼みますが、その際に王さまがお礼の金貨をごまかしたので、魔法使いは怒り、人間ではなくロバの王子が生まれてしまいます。ロバは王子として必要なことをすべて学び、リュートの演奏もできるようになりますが、王さまと王妃さまはロバを愛してはくれません。ロバの王子は別の王国に出かけていき、リュート弾きとしてその宮殿に住みます。そこの王さまや王女、王子はロバを家族のように遇してくれます。しかし、お姫さまに求婚者が現れ、悲しみのあまりロバは宮殿を去ろうとします。しかし、王女さまはロバが大好きだと言い、そのとき、ロバはハンサムな人間の王子に変身します。ふたりは結婚して幸せに暮らします。

お祈りしたわけではありませんが、欲しいと思っていたところ生まれてきました。

- 20) Rapunzel (ラプンツェル) / the Brothers Grimm ; [illustrated by] Bernadette Watts ; [translated by James Dobson]. London D. Dobson 1975 当館請求記号 (Y19-A777)
(出版国 イギリス) 夫婦は長いこと子どもが欲しかったのですが、恵まれませんでした。でも、神が願いを聞いてくれたのか子どもが宿りました。妊娠による嗜好の変化によるものか妻は隣家の庭にあるラプンツェル(日本語名:野萵苣、オミナエシ科の植物)が食べたい、食べられなかったら死んじやうと言います。仕方なく夫は出かけていきますが、それは魔女の菜園で、夫婦は生まれた娘をその魔女に渡すこととなります。
- 21) Rapunzel (ラプンツェル) / retold and illustrated by Paul O. Zelinsky. New York Dutton Children's Books c1997. 当館請求記号 (Y17-Z19A2780)
(出版国 アメリカ) 同じくラプンツェルです。
- 22) Rapunzel : ein Marchenbilderbuch frei nach den Brudern Grimm (ラプンツェル:グリム童話に拠る民話絵本) / von Felix Hoffman. Aarau Sauerlander 1977, c1960 当館請求記号 (Y19-A552)
(出版国 スイス) 同じくラプンツェルです。
- 23) Dornroschen : ein Marchenbilderbuch (いばらひめ:民話絵本) / nach den Brudern Grimm von Felix Hoffmann. Aarau Sauerlander 1984, c1959. 当館請求記号 (Y19-A903)
(出版国 スイス) 王さまと王妃さまは毎日のように「ああ、子どもがいればなあ」と話していました。ある日、王妃さまが、水浴びをしていたところ、蛙が現れて「お前の願いはかなえられるだろう。一年たたないうちに娘が生まれるよ」といいます。その予言どおりに、姫が誕生しますが、一人の仙女を招待し忘れたために姫はのろいを受け、死にはしないが長い眠りにつくはめになります。
- 24) おやゆびこぞう グリム作 小沢俊夫訳 こさかしげる絵 東京 小学館 1980 当館請求記号 (Y17-7055)
(出版国 日本) グリム童話です。貧しいお百姓の夫婦は「子どもがないってことは、かなしいこったなあ。よそはあんなににぎやかで、楽しそうにやっているのに、うちはこんなに静かなんだものなあ」「そうねえ、ひとりでもいいから子どもがいたらいいのにねえ、うんと小ぢやな子だつて いいわ。そうよ、親指くらいの大きさしかなくつたつて、わたし、まんぞくだわ。うんと、かわいがつてあげるのにねえ」と話しあっていました。そして、親指くらいの大きさの子が生まれます。おやゆびこぞうはさまざまな冒険をして、両親のもとに帰ります。
- 25) おやゆびこぞう : グリム童話 グリム〔著〕 フェリックス・ホフマンえ 大塚勇三やく 東京 ペンギン社 1979 当館請求記号 (Y18-N02-24)
(出版国 日本) 同じくおやゆびこぞうです。

見つけました

- 26) 撒珠湖・婆婆岩・鸳鸯岩 (撒珠湖・夫婦樹・夫婦岩/ 甫力亚,黄越,张雪绘画,阿由编文 杭州:浙江童出版社 1992.12 当館請求記号 (Y2-AZ597)
(出版国 中国) 中国の主に湖南省、湖北省に住んでいる少数民族土家族(トウチャ族)の民話です。木や葛をとって暮らしている老夫婦には子どもがいませんでした。ある日、おじいさんは仕事の帰りに湖に蓮の花が浮いているのを見つけます。その中に赤ちゃんがいました。二人は「鉄塔」と名づけて育てます。大きくなった鉄塔は、龍女姉妹と協力して、妖怪をやっつけます。やがて、鉄塔はそのうちの一人と結婚します。
- 27) Momotaro and the island of ogres : a Japanese folktale(桃太郎と鬼が島:日本民話) / as told by Stephanie Wada ; paintings by Kano Naganobu. New York George Braziller 2005. 当館請求記号(Y18-B501)
(出版国 日本)「おじいさんとおばあさんは(子どもが欲しいと)熱心に祈りましたが、二人には子どもがいませんでした」という日常のなかで、おばあさんは、川に洗濯に行くと、桃が流れてきました。その桃を割ると、中に男の子がいました。

28) うりこひめとあまんじゃく 木島始文 朝倉撰絵 東京 岩崎書店 2002

当館請求記号(Y17-N02-407)

(出版国 日本)「やまに かこまれた うつくしいむらに、なかのいい おじいさんと おばあさんが すんでいました。 ふたりの ねがいは かわいい こどもが ひとり欲しいなあということだけでした」で、おばあさんは川で瓜を拾い、その瓜のなかから女の子が生まれます。瓜子姫と名づけられた女の子は機織の上手な娘に育ちます。あまのじゃくに誘拐されますが、無事、家に戻ってまた機織りに精を出します。

29) うりこひめ：にほんのはなし たけもとかずこぶん；たきそうたえ 東京コーキ出版 1977.7

当館請求記号(Y17-5461)

(出版国 日本) 同じ瓜子姫の話ですが、「じいさまと ばあさまが すんでおった。こどもの おらんのが さびしくて『どうにかしてひとり ほしいもんじゃ』と いつもいつも なげいておった」と、いうのは変わりませんが、裏の瓜畑に育った巨大瓜のなかから生まれます。瓜子姫は機織の上手な娘に成長しますが、天邪鬼に乗り移られてしまいます。やっとな邪鬼を追い出しますが、時、既に遅く、瓜子姫の体は瓜に変わってしまいます。

30) うりこひめ 高橋克雄写真・文 東京 小学館 1983.6 当館請求記号(Y17-9483)

(出版国 日本) おじいさんとおばあさんが、子どもが欲しいと思っていたかは判然としません。大きな瓜を見つけたおばあさんはおおよろこびで「むらのみんなにもわけてあげましょう」と思います。その瓜から生まれた機織り上手な瓜子姫に殿様が求婚します。

突然、子どもが現れました

31) 姐姐和弟弟·小拇指大的男孩·自以为聪明的国王(姉と弟·小指くらい大きさの男の子·頭がいいと思っている国王) / 吴松绘画,陶野编文 p.19-30 杭州：浙江少年儿童出版社 1992.12

当館請求記号 (Y2-AZ588)

(出版国 中国) キャベツを収穫していたおばあさんは、うっかり指を切ってしまいます。その小指を布で包んでおくと、その中から、男の子の声がします。驚いているとそこから、小指くらいの男の子が出てきて「僕はあなたの子供ですよ。指から生まれたのです」ということで、おじいさんとおばあさんはこのちいさな子を育てます。そのあとの筋書きは、「おやゆびこぞう」とほぼ同じです。中国に住むロシア族の民話と書かれています。

32) 2001or2 تولد نخودي / مصطفى رحماندوست; رجب علی خدای شباویز تهران

(お豆さんの誕生)

当館請求記号 (Y17-AZ3832)

(出版国 イラン) おじいさんとおばあさんには子どもがいません。ある日、豆を煮ていたおばあさんは「この豆くらい大きさの子どもでもいいから子どもが欲しい」と思います。すると、本当に豆くらいの大きさの子どもが出現しました。

他のものから作ってみました、または、来てもらいました

33) 面团巴图尔·机灵的小伙子·毛拉与农夫(練り粉のバトール·頭のいい若者·イスラムの聖職者と農夫) / 刘建,陈敏,王波绘画,忆船,记殷,江音编文 杭州：浙江少年儿童出版社 1992.12

当館請求記号 (Y2-AZ583)

(出版国 中国) 七十過ぎても子どもがいない老夫婦は、粉を練って人形を作ります。するとその人形が太った子どもになり、だんだんと成長して立派な若者になりました。若者は「練り粉のバトール(英雄の意味)」と呼ばれます。さまざまな冒険を経て、バトールは美しい娘と結婚します。中国の新彊、ウルムチなどに住むタタール族の民話です。

34) Ivasyk-Telesyk:ukrainska narodna kazka(イヴァースク・テレシク:ウクライナ民話)/ namaliuvav Oleksander Koshel. Kyiv A-BA-BA-HA-LA-MA-HA c1997. 当館請求記号 (Y17-A2512)

(出版国 ウクライナ) 表紙の絵を見ると女の子のように見えますが、男の子です。子どもがいないままに年をとってしまった夫婦は、子どもがほしいと思います。おばあさんは「森から木を切ってきてちょうだい。それをゆりかごに入れるから」とおじいさんに頼みます。おじいさんは気が進みませんでしたが、おばあさんがあまり頼むのでそのようにします。おばあさんは、その木をゆりかごに入れ、歌を歌います。するとその木が子どもに変わりました。テレシクは外に出て、さまざまな冒険をします。ウクライナでは誰もが知っている有名な民話です。

- 35) オテサーネク エヴァ・シュヴァンクマイエロヴァー絵と文 矢川澄子訳 東京 水声社 2001.12
当館請求記号 (Y18-N02-31)
(出版国 日本) チェコの民話です。幸せに暮らしている夫婦の口癖は「これで、こどもさえいればなあ」でした。ある日、夫は森に行き、子どもの形をした木の切り株を見つけました。ちょっと手を入れると子どもそっくりです。そして、その子が動き出しました。オテサークの誕生です。オテサークはものすごい食欲を發揮し、夫婦は食べられてしまいます。家を出たオテサークによって、まわりの家畜も全て食べられ、野菜も、近所の人も食べられてしまいます。機転を利かせたあるおばあさんがオテサークの腹を鋏で叩き割って、みんなを助け出します。それ以来、夫婦は「ああ、こどもがいたらなあ」などと言わなくなりました。
- 36) つばさをもらったつき：ブルガリアのむかしばなし 八百板洋子文 赤坂三好絵 東京 フレーベル館 2000.12
当館請求記号 (Y18-N01-17)
(出版国 日本) ブルガリアの民話です。子どもが欲しいと思っていたおじいさんはある日、鴨を捕まえます。家に帰っておばあさんに見せると「まあ、かもでは、おてつだいはむりでしょうが、わたしたちのこどもにしましょう」ということになります。その日から、おじいさんとおばあさんが留守の間に、おいしいご飯が用意されていたり、きれいなクッションがあったりします。こっそり覗くと鴨が人間の娘になっていました。ずっと娘のままいてほしいと思った二人は、鴨の翼を焼いてしまいます。鴨は飛べなくなりました。二人は鴨のために翼を作り、無事飛び立てるようにしてあげました。
- 37) かものむすめ：ウクライナ民話 松谷さやか訳 リガ・ヤクトーヴィチ絵 東京 福音館書店 1997.11
当館請求記号 (Y18-M98-165)
(出版国 日本) ウクライナの民話ですが、筋は「つばさをもらったつき」とほぼ同じですが、おじいさんとおばあさんは、鴨を飼うつもりで家に連れて帰る、その鴨が娘に変わる、燃やすのは翼ではなくて、鴨の巣というところが違います。
- 他のものから作ってみました、または、来てもらいました～特集：雪娘～**
ロシアの民話です。満ち足りた老夫婦ですが、子どもがいません。ある日、ふたりは庭にでて雪で女の子をつくりました。するとその雪で作った女の子がほんとうの人間の子になったのです。ふたりは娘を大事にします。やがて春になり、娘は、だんだんふさぎ込むようになります。そして夏が来ました。ある日、近所の娘たちと出かけていった娘は火に当たって、溶けていなくなります。この民話はロシアでよく知られた民話で、さまざまな挿絵画家が絵を描いています。さまざまな雪娘を比べてみました。
- 38) Snegurochka (雪娘) / [pereskazala I. Karnaukhova ; risunki T. Ereminoi]. Moskva "Malysh"1975.
当館請求記号 (Y17-B1978)
(出版国 ロシア) 雪娘は成長して十代のみずみずしい乙女になりました。
- 39) Snegurochka : russkaia narodnaia skazka (雪娘：ロシア民話) / obrabotala Irina Karnaukhova ; risunki M. Uspenskoii. Moskva "Detskaia lit-ra" 1977. 当館請求記号 (Y17-B1980)
(出版国 ロシア) 夫婦と雪娘の暮らしのまわりの風景が美しく描かれています。
- 40) Snegurochka : skazki (雪娘：民話) / risunki V. Chebotareva, S. Cherkasova. Vladivostok Dalnevostochnoe knizhnoe izd-vo 1976. 当館請求記号 (Y17-B1981)
(出版国 ロシア) 夏になるにつれて、憂鬱な表情になっていく雪娘が描かれています。
- 41) Snegurochka : russkaia narodnaia skazka (雪娘：ロシア民話) / [pereskazala I. Karnaukhova ; khudozhnik V. Provalov]. Moskva Malysh 1971 当館請求記号 (Y17-A7150)
(出版国 ロシア) 雪娘は水色の服で描かれています。他の女の子の華やかな服、季節の緑が雪娘と対照的です。
- 42) Snegurochka : russkaia narodnaia skazka (雪娘：ロシア民話) / [khudozhniki T. Dobrovolskaia, N. Lebedev]. Leningrad Kombinat graficheskogo iskusstva c1974. 当館請求記号 (Y17-A7493)
(出版国 ロシア) 雪娘は若い娘です。紙を使った人形劇ができる綴じ込みの絵が付いています。

43) Snegurochka : vesenniaia skazka v chetyrekh deistviiakh s prologom (雪娘 : プロローグ付き四幕の春のお話) / A. Ostrovskii ; [khudozhnik Roman Belousov]. IArosavl Verkhne-Volzhscoe knizhnoe izd-vo 1973.

当館請求記号 (Y8-B1015)

(出版国 ロシア) 民話「雪娘」をもとにした、アレクサンドル・オストロフスキーの劇です。

44) Snegurochka (雪娘) / [pereskazala I. Karnaukhova ; khudozhnik T. Morkovkina]. Moskva "Malysh" 1981, c1980.

当館請求記号 (Y17-B1982)

(出版国 ロシア) 可愛い女の子の雪娘です。暖かくなるにつれ、娘の表情は不安そうになっています。

45) Snegurochka : novogodnie stikhi i skazki. (雪娘 : 新年の詩とお話) Moskva Eksmo 2008.

当館請求記号 (Y17-B10400)

(出版国 ロシア) 新年にちなんだ民話や詩が集められています。pp.65-70が「雪娘」です。

(番外篇)

子どもがいても、いなくても、やはり二人は幸せです

46) The cat of happiness : an Iranian folktale (幸せの猫 : イラン民話) retold by Yukie Kadoyama illustrations by Nayyereh Taghavi Steven P. Venti 訳 東京 Shinseken 2003.12 当館請求記号 (Y18-B132)

(出版国 日本) イラン民話です。おじいさんとおばあさんは静かで幸せな生活を送っています。子どもはいませんが、寂しいと思ったことはありません。でも、ある日、屋根のところに怪しい物音がして、調べてみると小さな猫がいました。二人はこの猫を育てることにします。二人の生活は急に活気を帯び、さらに幸せなものになりました。